

いろいろにゆうすがありまして

やぶやぶにゆうすの感想、大藪保険への意見をお寄せください。

office@yabuyabu.com

今昔やぶやぶ

にゆうす物語

杉山編集長

最後の号です。

やぶやぶにゆうすをこ愛読いただきありがとうございます。

この号をもちまして私杉山編集長として最後の号となりました。何とか100号までは頑張りたいた。何となく100号までは頑張りたいた。思っておりまして、会社の方針もあり、また私自身高齢という事もあり、次年度からは新しい編集長の元でこのにゆうすを出して行くことになりました。私も来春に会社を去ります。

最初は大藪社長の手書きから始まりまして。(社長の書き文字が存知のお客様もいられるかと思いますが、決して読みやすい文字ではありません)何とかお客様と代理店の距離を縮めたい、身近な存在として気楽に相談していただきたく思いました。その後ワープロになり、パソコンでの作成に、当初は白黒でしたが、10年前ぐらいからカラー印刷になりました。

印刷も最初はコピー機で、その後裏表の両面コピーに、その後表面だけカラー印刷に、最初の頃は三つ折りにするの人も海

戦術、各保険会社に協力頂き、作業していただきました。その頃はまだ保険会社も特定利益供与などと言ったことなく、良い時代でした。

郵送も切手をいちいち貼ってましたね。郵便局に持ち込んだことも、新聞発行日は今とは疲労度は雲泥の差でした。その後飲むビールの美味しかった事、(これは蛇足)会社に保存しておりましたやぶやぶにゆうすを見てみますと、一言で言えば編集が稚拙、字が多すぎる、でも今でも面白い記事がある。このころは残業当たり前、長い間社長と私、従業員は1名、バイト1名という時期が続きました。とにかく忙しかつた、会社の成長期だったのですね。

面白いように仕事が決まっていきました。新聞からも躍動感が伝わって仕事が面白い、達成感がありました。だからこそ今日まで続けられたのです。これは幸せなことです。

1994年からやぶやぶにゆうすのフォーマットが決まりました。まだモノクロお友達のデザイナーの旦那様が作ってくれました。27年前の出来事

若かりし頃の大藪社長、自筆のイラスト似てますか？

11号、なんと1993年発行です。28年前

2007年はアリゴでした。今はメット、我が家のメママエ回のお産でした。メママもその時に産まれた子も虹の橋を渡りました。まさに今昔

明るい気持ちでお過ごしください 葉をお届けします。

この新聞を関わって30年近くなりましたが、皆様からの励ましがあって、なんとか続けていくことが出来ました。

本当に有難うございました。昨今のコロナで皆様の気持ちも暗く重苦しい日々が続いております。最後の号には少しでも明るい気分になっていただきたい、私の趣味の一つが押し花作品です。大藪保険でも夏休みにやぶやぶセミナーとして子供たちに押し花作品作りを教えました。おかげさまで子供たちには好評でしたその自由な発想は教える私にも刺激になりました。そう、押し花で葉を作ろう！新聞に入れて皆様のお手元に届けたい！

最後の号に葉作製応援団が！

発想は良かったのですがいざ作製となると数量が多い、思った以上に手間がかかる毎日が内職しているようでした。これでは間に合わない！

さあ大量製作開始、大藪保険の女性軍、セミナーに参加してくれた小学生の私のお弟子さんも運動会での振替休日で参加、これでも手が足りず、地元の押し花教室の皆さんも総動員、私の最後の号を応援してくれました。



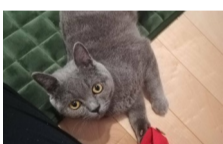
皆様のお手元にはどれが届くのでしょうか。若干うん？な作品もありますが葉に込められた愛をお届けします。ご希望の方がいらっしゃれば、若干手持ちがありますのでご連絡ください。



やぶやぶわんこ・にやんこコーナー

幸せになったツナちゃん

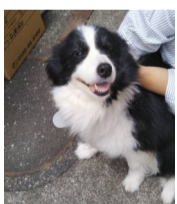
やぶやぶわんこ・にやんこのコーナーもこれが最後になります。最後を飾るのはブリテイッシュ・ショートヘア7カ月のツナちゃんです。飼い主さんは断然わんこ派でしたが、ペットショップの売れ残りらしく、邪魔者あつかい。これでは殺処分？と飼う事になったそう。帰って来ると玄関までお出迎え、会社に行こうとすると、行かないでと靴下を引っ張る、まるでわんこみたいな子だそう。幸せになって良かったね。



ツナちゃんです。

また会いましょう エマちゃん

現在飼っている犬がいない編集長にやすらぎをもたらすわんこの一匹です。ボーダーコリーの8才のエマちゃん女の子です。そのエマちゃんがママの仕事の関係で和歌山にお引越しです。寂しくなるね、そのお引越しです。市川市の行徳から和歌山の紀の川まで小さなわんこなら新幹線に乗せられますが飛行機？ボーダーコリーは平均20kg中型犬になります。エマちゃんとチワワとインコはなんとペットタクシーでお引越しした。ママと一緒に乗れるし、調べた結果移動には一番安いそう。タクシー代なんと13万1千円！また会いましょうエマちゃん！



エマちゃん

編集後記

いよいよ編集長最後の仕事です。編集後記です。今後は地元中心で押し花セミナー、よさこいで地域復興なんて考えていますが、あくまでもコロナ終息が前提です。ペットコーナーも長い間続けておりましたので幸せをつかんだ子、亡くなってしまった子、走馬灯のように思い出が甦ります。思い深いコーナーでした。あくまでも私がペット好きなので続きました。実は大藪社長も大のペット好きなんです。 それでは皆様、お元気で、前に向かって進んで行きましょう。皆様のご多幸を願っております。 最後になりましたが大藪保険を引き続きよろしくお願いたします。

(杉山編集長)